

景気動向調査結果

(平成28年1月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業））を対象に、平成 28 年 1 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 28 年 2 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更しています。

回答企業数は、467 社（製造業 239 社（うち面接 64 社）、非製造業 228 社）で、回答率は 66.7 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

平成28年1月の景気動向

1 総論

長野県経済は、回復に向けた動きに弱さがみられます。

製造業では、中国を始めとする新興国経済減速の影響などを受け、ほとんどの業種で業況が悪化し、3期連続のマイナス水準となりました。また、円安に伴う原材料価格の高止まりがみられます。

非製造業では、情報サービス業で改善がみられたものの、建設業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業で悪化し、全体では弱い動きがみられます。

一方、3か月後は製造業、非製造業ともにマイナス水準ではあるものの、業況の改善が見込まれています。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（27年1月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 35.9$ となり、前回調査時（27年10月）の $\Delta 26.6$ より9.3ポイント悪化しました。

3か月前（27年10月）と比較したD Iは $\Delta 41.0$ となり、前回調査時の $\Delta 20.0$ より21.0ポイント悪化し、3期連続のマイナス水準となりました。

なお、3か月後（28年4月）の予想ではD Iは $\Delta 11.8$ となり、中国を始めとした新興国などの海外景気の先行きへの不安感等は残るものの、設備投資の回復への期待などから持ち直しの兆しもみられます。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連は弱さがみられるほか、スマートフォン向けの需要の一部に一服感もみられます。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、自動車関連向けを中心に受注、生産が堅調に推移しているものの、一部に新興国経済減速の影響などがみられます。

イ 一般機械では、設備投資の回復基調の一服感や新興国経済減速の影響がみられることから、自動車関連向けや半導体関連向けなどの一部に弱さがみられます。建設機械は、国内向けは受注、生産が堅調に推移していますが、海外向けは北米向けなどの受注、生産が堅調に推移しているものの、一部には一服感がみられます。

ウ 精密では、時計は一部に一服感がみられるものの、高価格帯製品を中心に受注、生産が堅調に推移しています。レンズは、自動車関連向けは受注、生産が堅調に推移しているものの、プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部には一服感もみられます。計器は、圧力計は自動車向けや産業機械向けの受注、生産に一服感がみられるほか、LPガスメーターは季節的要因により受注、生産が減少しています。

エ 自動車部品では、海外向けのうち北米向けの受注、生産は堅調に推移しているものの、新興国向けや国内向けの一部には弱さもみられます。

オ 食料品では、味そは季節的要因等により、3か月前と比べ受注、生産が減少しているほか、原材料価格の高止まり等による収益率の低下がみられます。酒類は消費の低迷により引き続き低調に推移しているものの、一部に受注、生産の増加がみられます。飲料は季節的要因等により、ペットボトル飲料を中心に生産の減少がみられます。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が16.9%と前回(22.4%)より減少し、「減少」とする企業が前回と同じ43.6%となった結果、D Iは前回(△21.2)から悪化し、△26.7となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が13.6%と前回(16.6%)より減少し、「減少」とする企業が45.8%と前回(34.4%)より増加した結果、D Iは前回(△17.8)より悪化し、△32.2となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が21.4%、「減少」とする企業が26.5%となった結果、D Iは前回予想(△16.6)より改善し、△5.1となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が18.1%と前回(23.5%)より減少し、「減少」とする企業が48.3%と前回(44.9%)より増加した結果、D Iは前回(△21.4)から悪化し、△30.2となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が14.7%と前回(17.7%)より減少し、「減少」とする企業が45.8%と前回(34.6%)より増加した結果、D Iは前回(△16.9)より悪化し、△31.1となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が20.9%、「減少」とする企業が27.2%となった結果、D Iは前回予想(△15.7)より改善し、△6.3となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が7.1%と前回(10.3%)より減少し、「安い」とする企業が26.5%と前回(27.2%)よりやや減少した結果、D Iは前回(△16.9)より悪化し、△19.4となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が2.1%と前回(4.5%)より減少し、「安い」とする企業が14.7%と前回(12.4%)より増加した結果、D Iは前回(△7.9)より悪化し、△12.6となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が1.3%、「安い」とする企業が16.0%となった結果、D Iは前回予想(△13.1)より悪化し、△14.7となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が6.5%と前回(8.4%)より減少し、「苦しい」とする企業が21.6%と前回(19.4%)より増加した結果、D Iは前回(△11.0)より悪化し、△15.1となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が3.9%と前回(4.6%)よりやや減少し、「苦しい」とする企業が17.3%と前回(13.1%)より増加した結果、D Iは前回(△8.5)より悪化し、△13.4となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が4.8%、「苦しい」とする企業が17.4%となった結果、D Iは前回予想(△8.4)より悪化し、△12.6となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が14.3%と前回(14.0%)とほぼ同じとなり、「低下」とする企業が43.3%と前回(47.9%)より減少した結果、D Iは前回(△33.9)より改善し、△29.0となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が7.6%と前回(11.5%)より減少し、「低下」とする企業が35.3%と前回(32.1%)より増加した結果、D Iは前回(△20.6)より悪化し、△27.7となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が12.7%、「低下」とする企業が24.5%となった結果、D Iは前回予想(△20.4)より改善し、△11.8となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコン関連は弱さがみられるほか、スマートフォン向けの需要の一部に一服感もみられます。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により受注、生産が堅調に推移しています。

(半導体関連) 自動車関連向けは、海外需要にけん引され堅調に推移しているものの、中国など新興国経済減速の影響などから、デジタル家電向けや産業用途では受注、生産が弱含んでいます。

(プリント基板) 情報機器では、スマートフォン向けの一部に一服感もみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) 自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産が堅調に推移しているものの、家電向けの一部で、中国など新興国経済の減速の影響などにより受注、生産が弱含んでいます。また、エネルギー関連向けでは受注、生産が低調に推移しています。

(モーター等) 家電向けでは、一部に新興国需要の減少があるものの、北米を中心とした需要にけん引され、受注、生産が堅調に推移しています。産業用途や自動車関連向けでは一部に一服感もみられます。

(その他) カーナビゲーションは、海外向けでは円安に伴う輸出環境の改善や、北米で続く好調な需要により受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けの一部には弱さもみられます。電源関連は、一部に需要の増加がみられるものの、低調に推移しています。

一般機械

(工作機械) 設備投資の回復基調の一服感や新興国経済減速の影響がみられることから、自動車関連向けや半導体関連向けなどの一部に弱さがみられます。

(金型) 自動車関連向けの受注、生産の一部に持ち直しに向けた動きがみられます。

(建設機械) 国内向けは受注、生産が堅調に推移していますが、海外向けは北米向けなどの受注、生産が堅調に推移しているものの、一部には一服感がみられます。

(農業用機械等) 国内向けでは季節的要因等により受注、生産が弱含んでいるものの、海外向けでは北米での好調な需要により受注、生産が堅調に推移しています。

| | |
|----------------|---|
| 精 密 (時 計) | 腕時計は一部に一服感がみられるものの、高価格帯製品を中心に、受注、生産が堅調に推移しています。 |
| (レ ン ズ) | 自動車関連向けは受注、生産が堅調に推移しているものの、プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部には一服感もみられます。 |
| (計 器) | 圧力計は、自動車向けや産業機械向けの受注、生産に一服感がみられるほか、LPガスマーターは、季節的要因により受注、生産が減少しています。 |
| 自 動 車 部 品 | 海外向けのうち、北米向けの受注、生産は堅調に推移しているものの、新興国向けや国内向けの一部には弱さもみられます。 |
| 食 料 品 (味 そ) | 季節的要因等により、3か月前と比べ受注、生産が減少しているほか、原材料価格の高止まり等による収益率の低下がみられます。 |
| (酒 類) | 清酒、ワインは、消費の低迷により引き続き低調に推移しているものの、一部に受注、生産の増加がみられます。 |
| (飲 料) | 季節的要因等により、ペットボトル飲料を中心に生産の減少がみられます。 |
| 織 維 ・ 衣 服 | 暖冬の影響等により、受注、生産の減少がみられます。 |
| 紙 ・ パ ル プ | ダンボールは、季節的要因等により、農産物向けで受注、生産の減少がみられます。 |
| 印 刷 | 季節的要因等により一部の受注、生産に増加がみられますが、印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。 |
| そ の 他 | プラスチック成型部品は、スマートフォン向けの一部に一服感がみられるものの、受注、生産が堅調に推移しています。 |

3 非製造業

(1) 業界の業況

非製造業のD Iは、前年同期と比べ、情報サービス業で改善がみられたものの、建設業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業で悪化し、全体では弱い動きがみられます。

前年同期（27年1月）と比較したD Iは $\Delta 31.8$ となり、前回調査時（27年10月）の $\Delta 23.3$ から8.5ポイント悪化しました。

3か月前（27年10月）と比較したD Iは $\Delta 39.0$ となり、前回調査時の $\Delta 17.4$ と比較すると21.6ポイント悪化しました。

なお、3か月後（28年4月）の予想は、D Iは $\Delta 15.9$ と前回調査時の $\Delta 29.7$ と比較すると13.8ポイント改善する見通しです。

(2) 各業界の動き

ア 建設業

建設業の業況は、収益率D Iが改善したものの、公共工事の減少に伴い受注件数D I及び売上高D Iが前年水準を下回ったため、D Iが $\Delta 47.1$ となり、前回（ $\Delta 33.3$ ）より悪化しました。

3か月後は、受注競争の激化や人手不足による人件費の上昇など厳しい収益環境が続くことが懸念されるものの、29年4月に予定されている消費税率引上げに伴う戸建住宅の駆け込み需要が見込まれることなどから、マイナス水準ながらも業況D Iの改善が予想されます。

イ 情報サービス業

情報サービス業の業況は、法人向け需要の増加により売上高D Iや収益率D Iが大きく改善したことから、D Iが41.7となり、前回（0.0）に比べ大幅に改善しました。

3か月後は、同業者間の価格競争や人手不足などから、厳しい受注環境が続くことが懸念されるものの、引き続き受注件数は底堅く推移するとみられ、業況D Iはプラス水準を維持することが予想されます。

ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況は、D Iが $\Delta 40.3$ と前回（ $\Delta 32.6$ ）より悪化しました。

小売業では、プレミアム付商品券を利用した売上の反動減などから、客数D I及び売上高D Iが悪化しました。一方、3か月後は高価格帯の品揃えの充実による客単価の上昇や年度末に向けた客数増加への期待があり、客数D Iや売上高D Iの改善が予想されます。

卸売業では、暖冬など天候による影響で遅れていた季節商品が動き出し、客数D I及び売上高D Iが改善したことから、業況D Iは改善しました。また、3か月後も新規取扱商品など品揃えを増やすことで売上高D Iの改善が見込まれることから、業況D Iの改善が予想されます。

エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況は、D Iが $\Delta 8.1$ と前回（17.6）より悪化しました。

飲食業では、降雪など天候による影響や個人客の外食を控える動きなどから、業況D Iは悪化しました。一方、3か月後は、御柱祭やNHK大河ドラマ「真田丸」効果などによる観光客の増加が期待されることから、業況D Iの改善が予想されます。

宿泊業では、天候による宿泊客数への影響がみられたことなどから、業況D Iは悪化しました。一方、3か月後は、外国人旅行者の予約が入り始めており、客数D I、売上高D Iの増加が期待されることから、業況D Iの改善が予想されます。

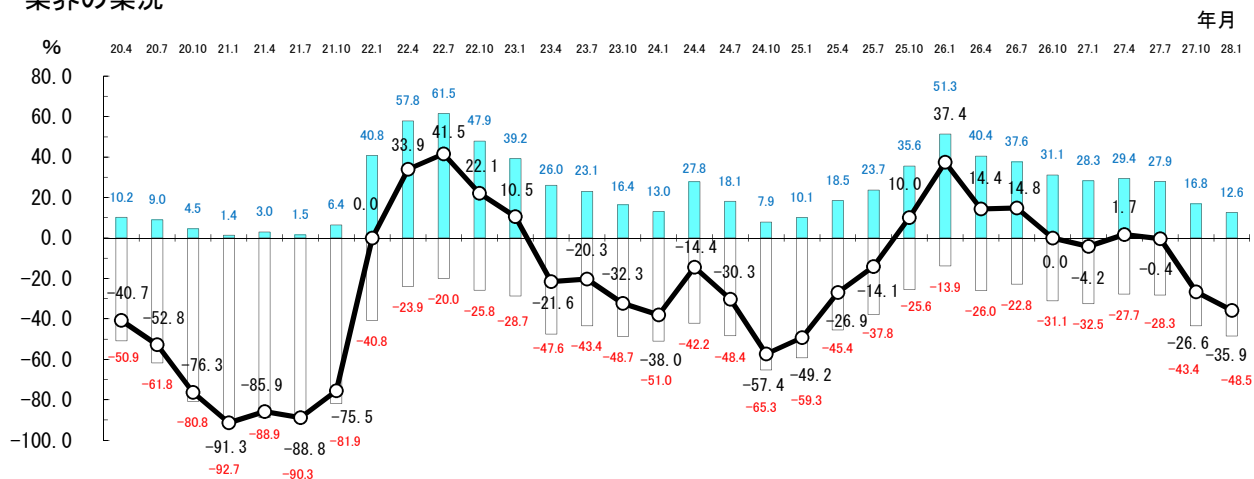
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転 (増加、上昇) の企業の割合、マイナス側は悪化 (減少、低下) の企業の割合です。
折れ線グラフ (D I) は好転 (増加、上昇) の企業の割合から悪化 (減少、低下) の企業の割合を引いた差です。

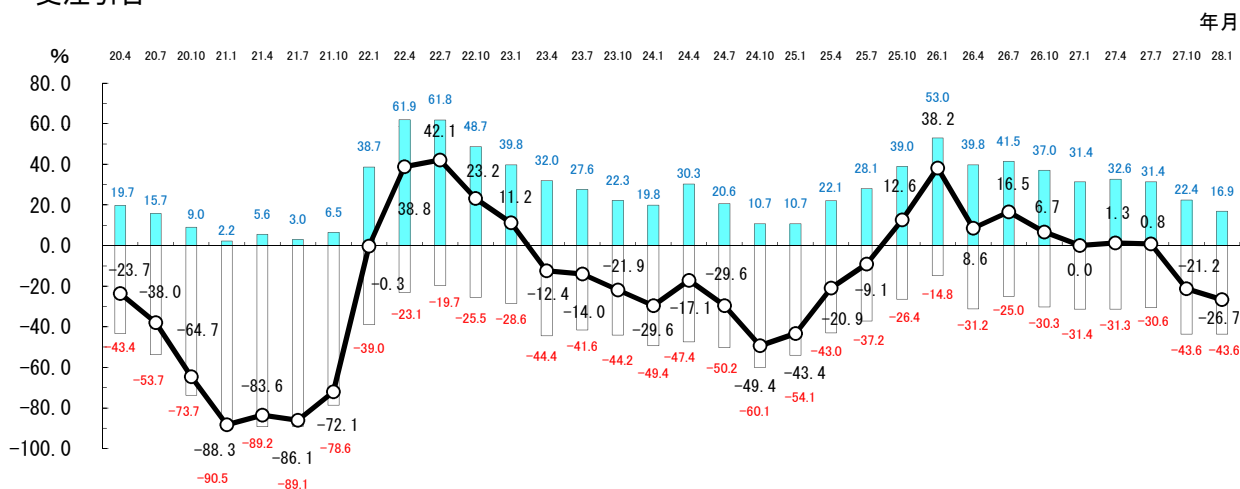
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

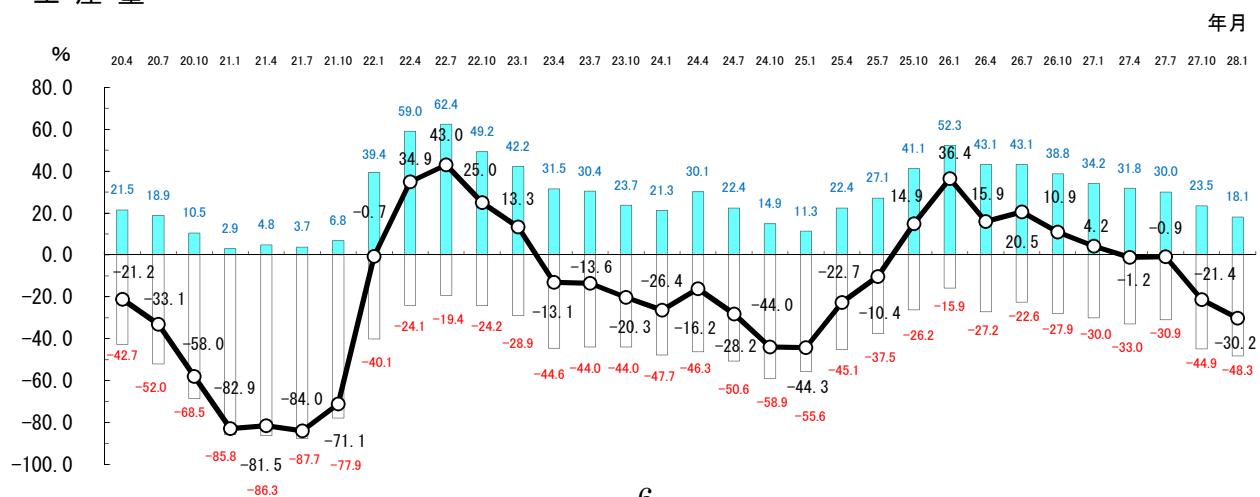
業界の業況



受注引合

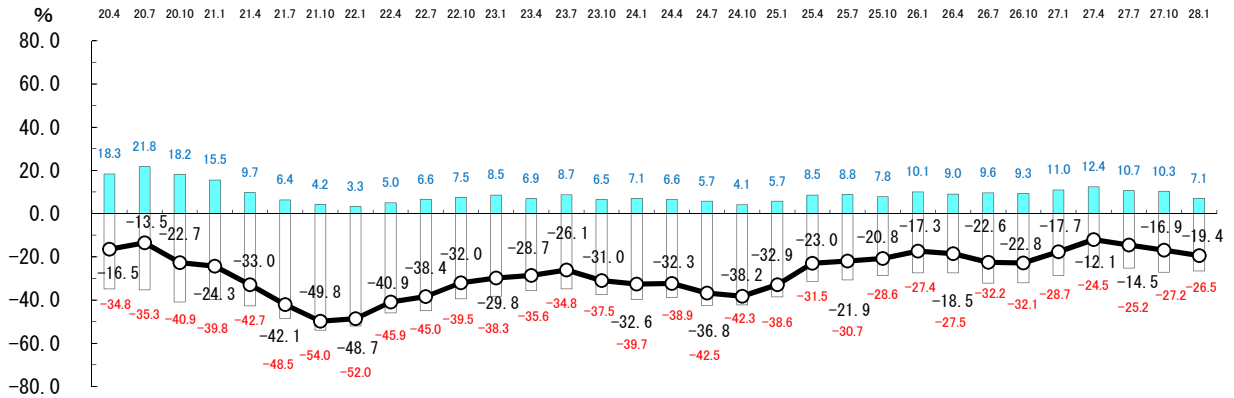


生産量



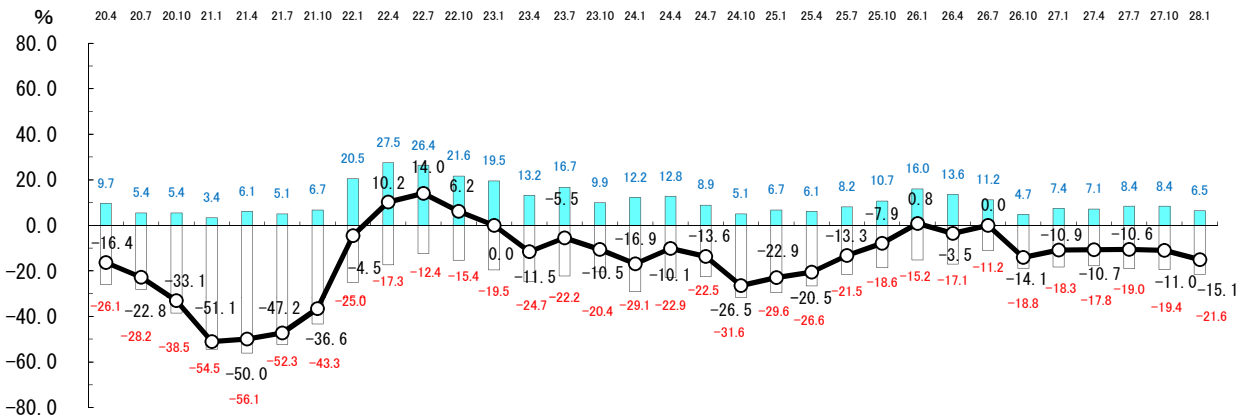
製品販売価格

年月



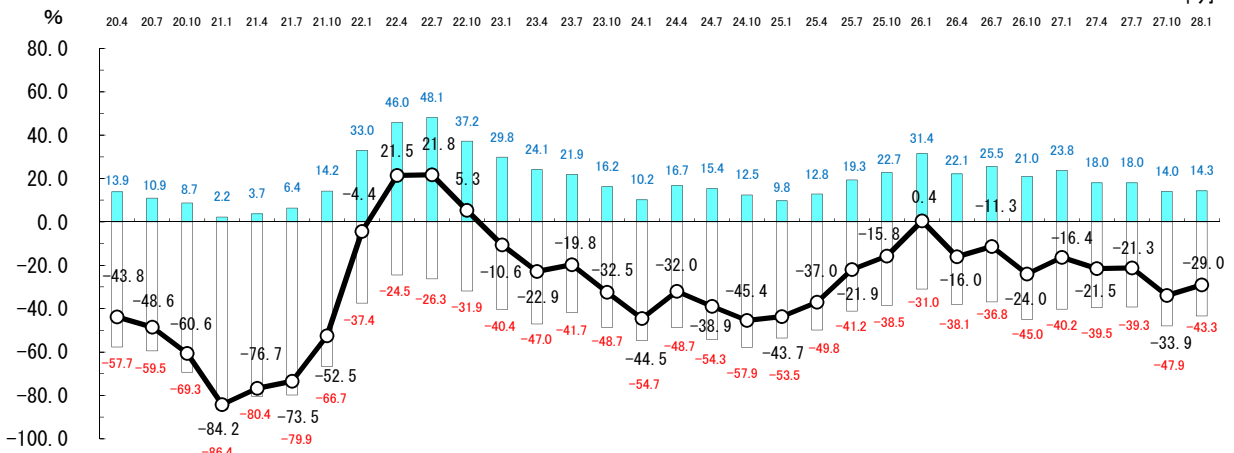
資金繰り

年月



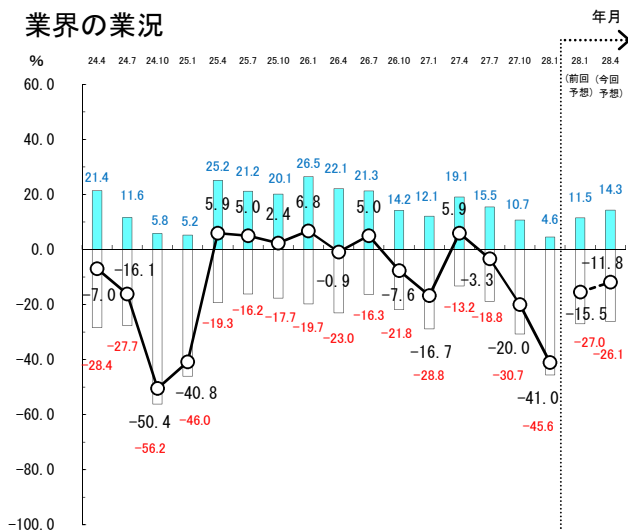
収益率

年月

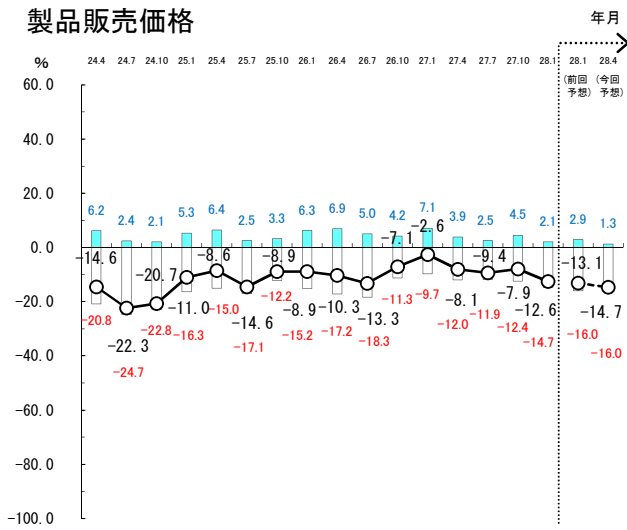


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

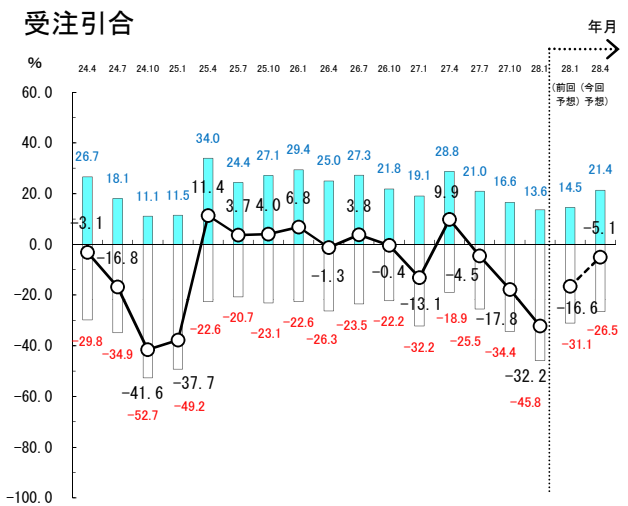
業界の業況



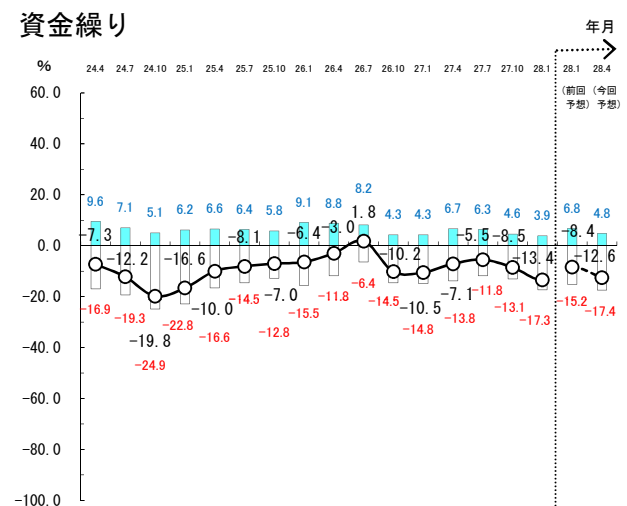
製品販売価格



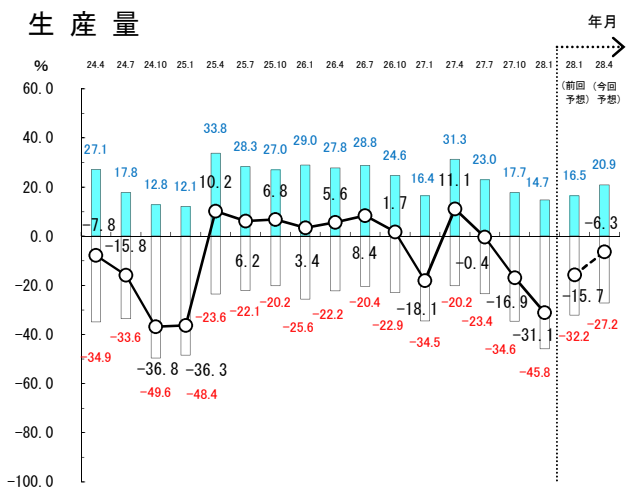
受注引合



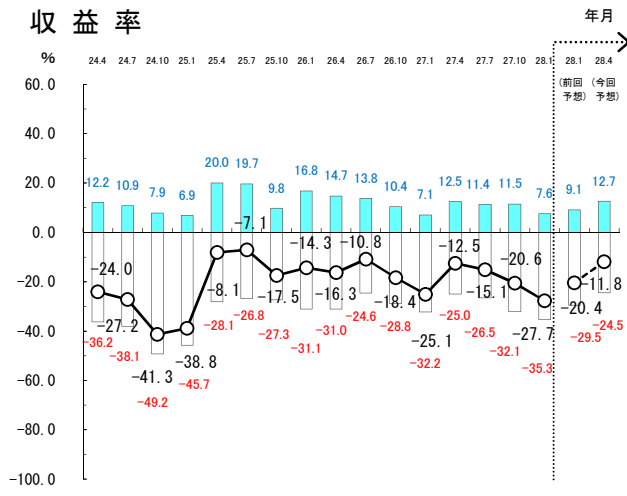
資金繰り



生産量



収益率

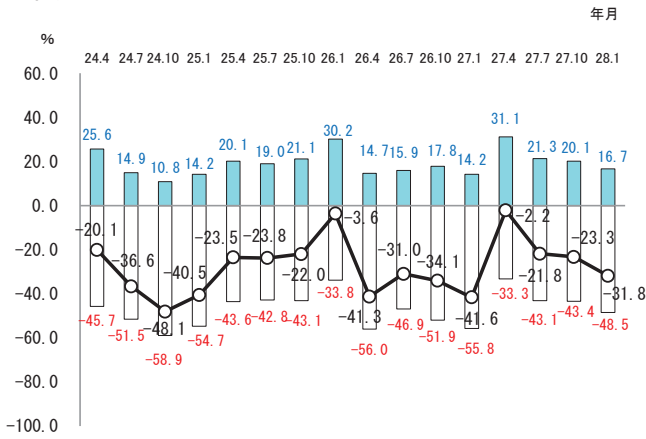


2 非製造業

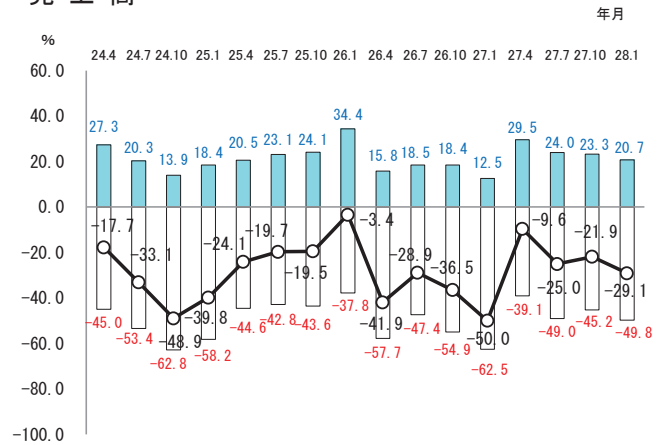
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

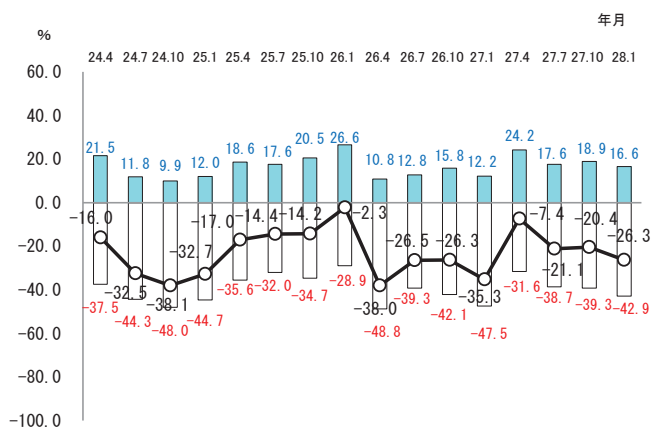
業況



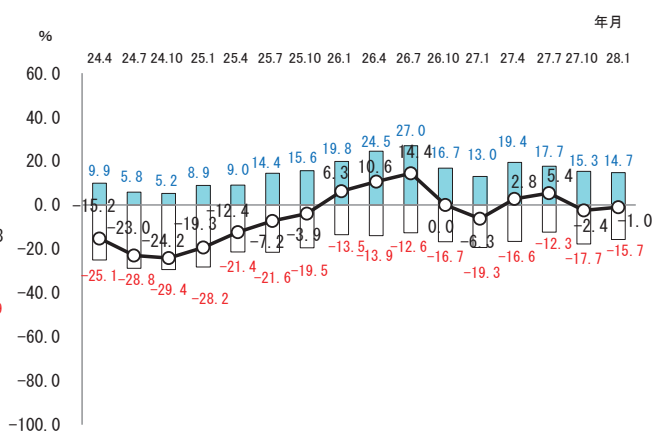
売上高



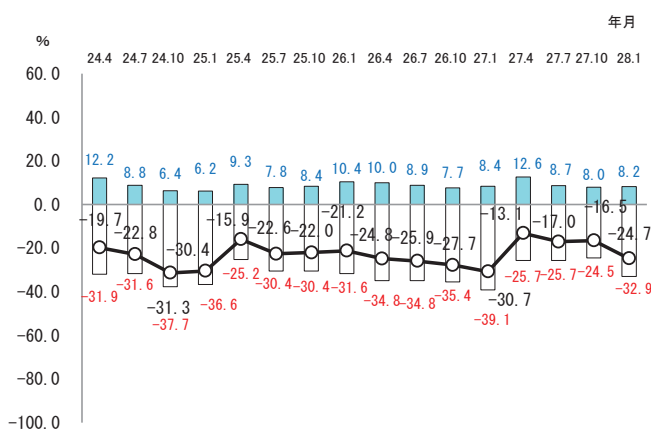
客数 (受注件数)



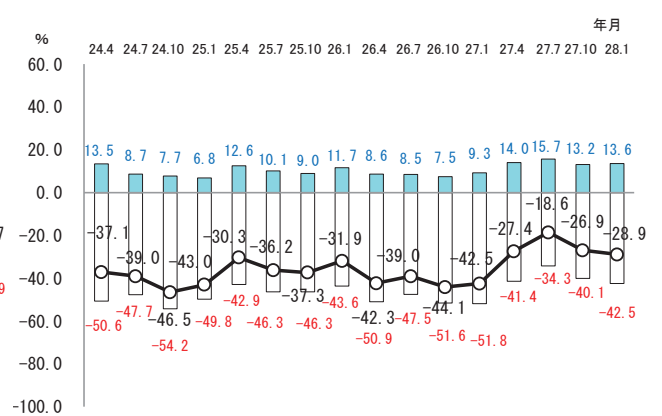
販売価格



資金繰り

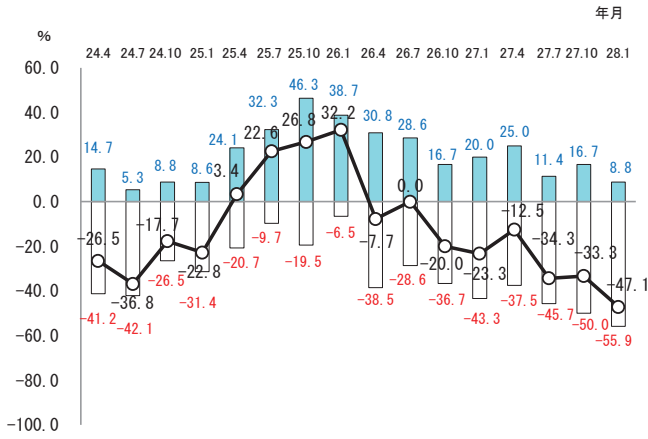


収益率

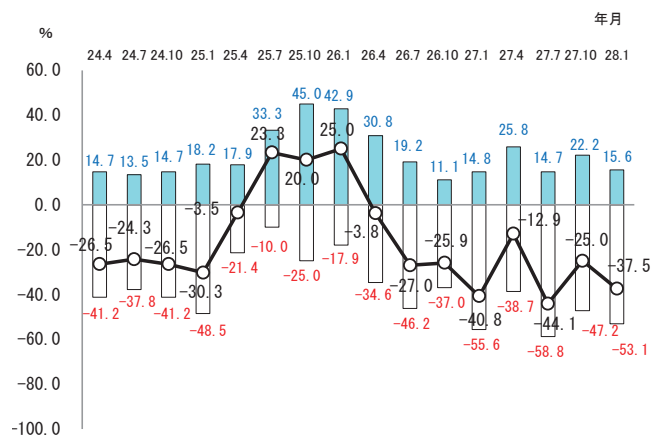


ア 建設業

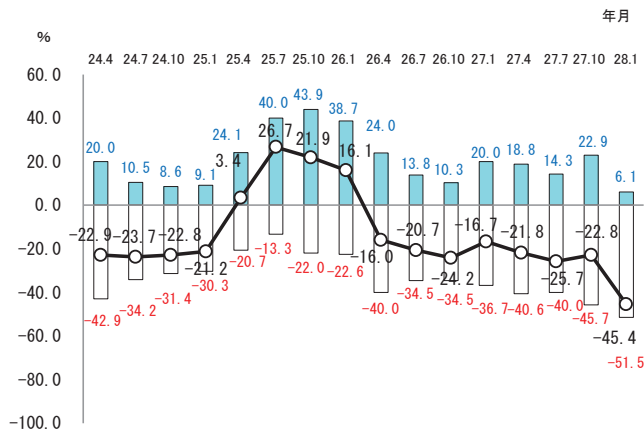
業況



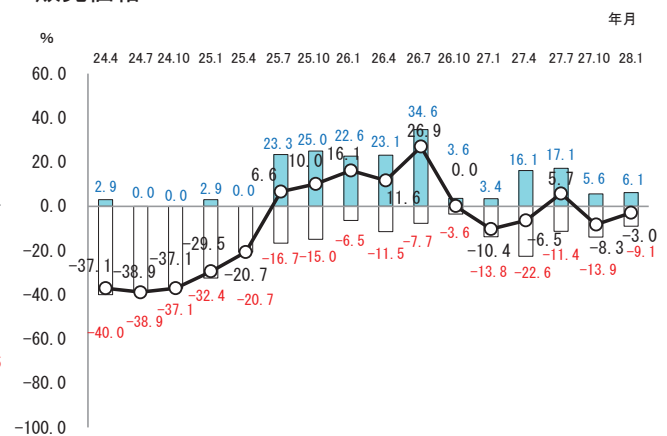
売上高



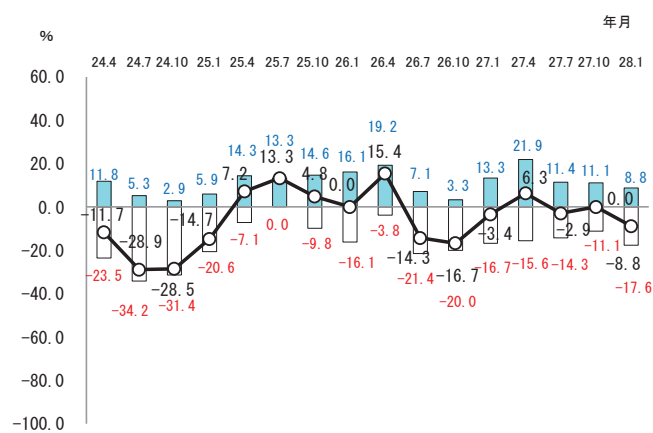
客数 (受注件数)



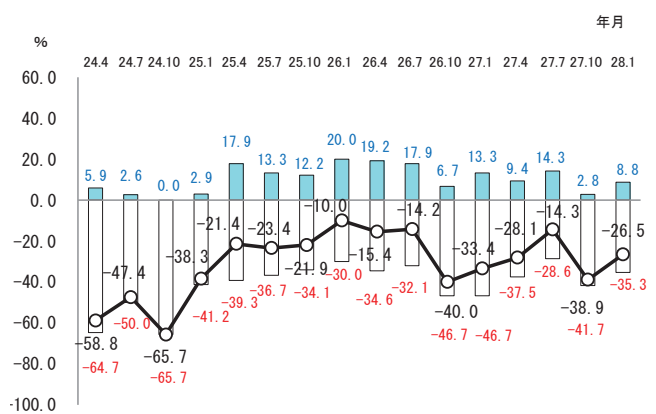
販売価格



資金繰り

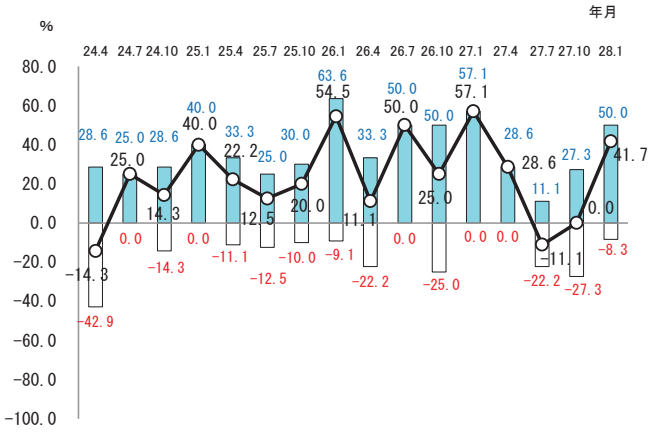


収益率

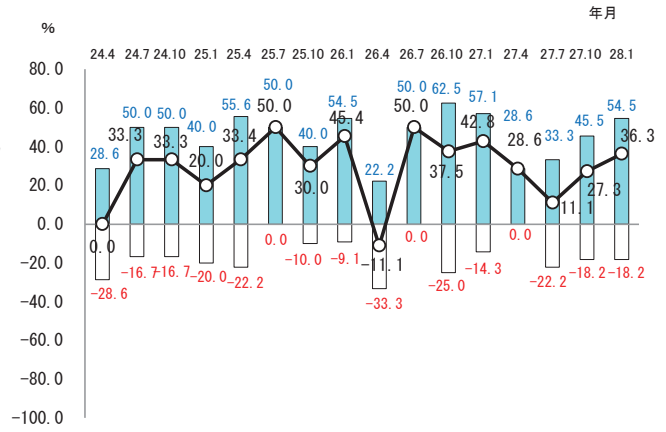


イ 情報サービス業

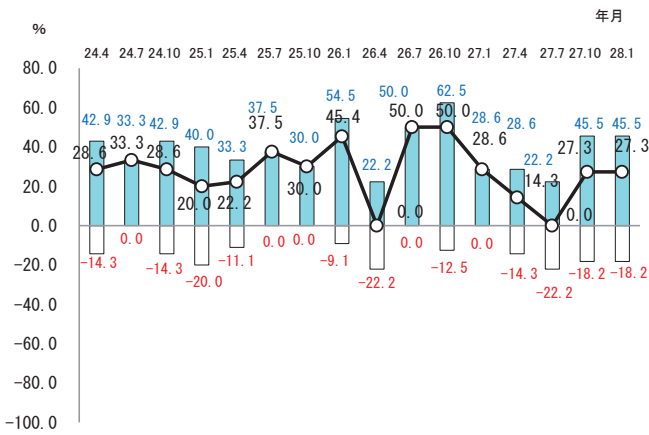
業況



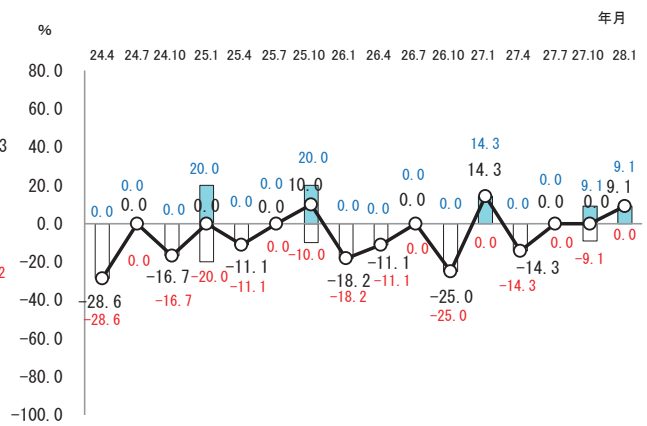
売上高



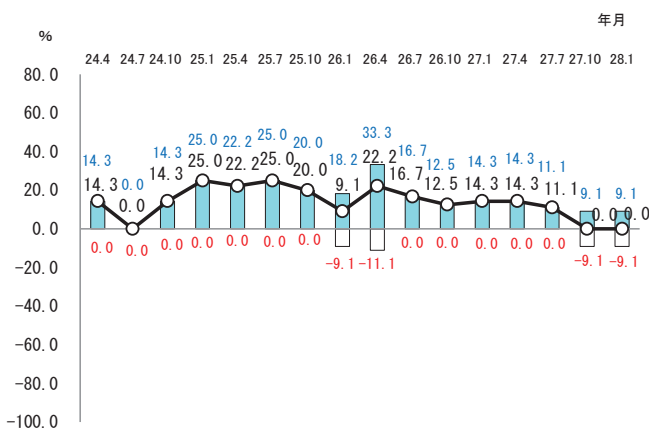
客数 (受注件数)



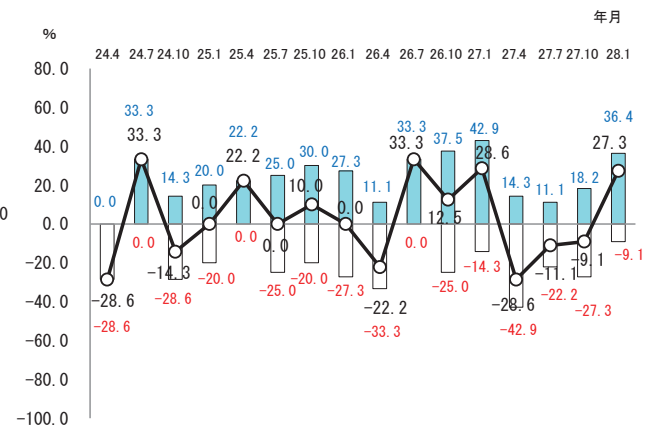
販売価格



資金繰り

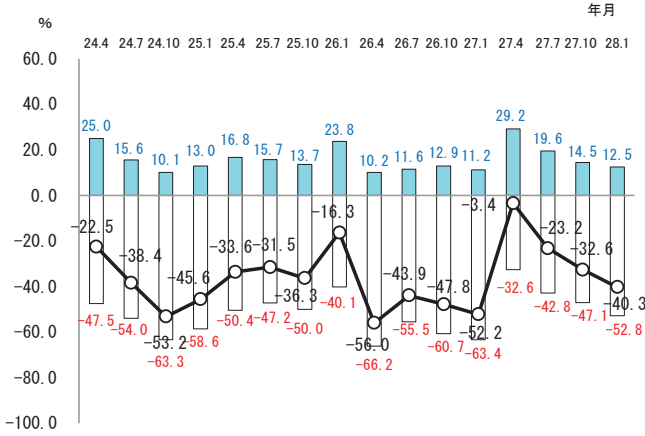


収益率

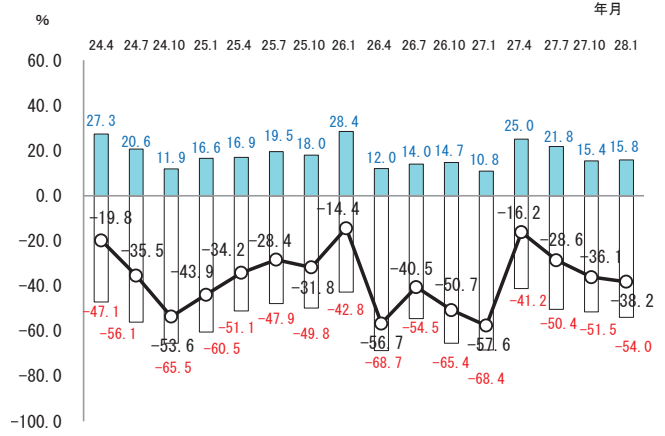


ウ 小売業・卸売業

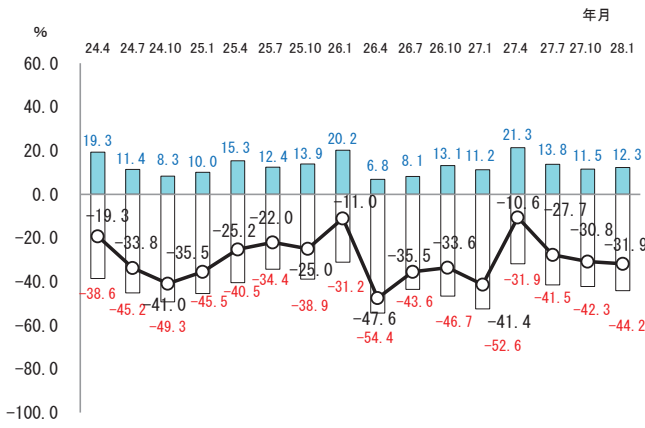
業況



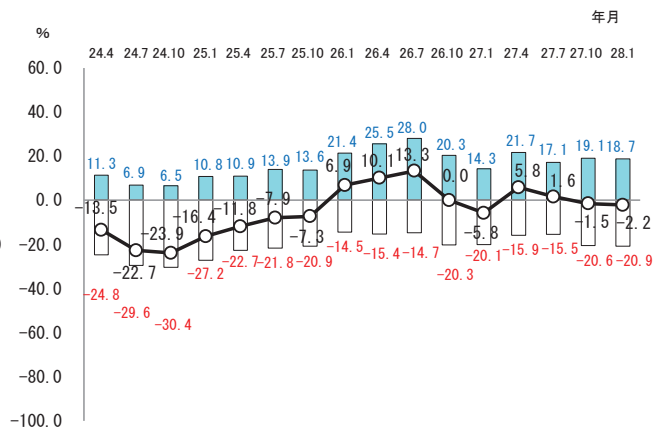
売上高



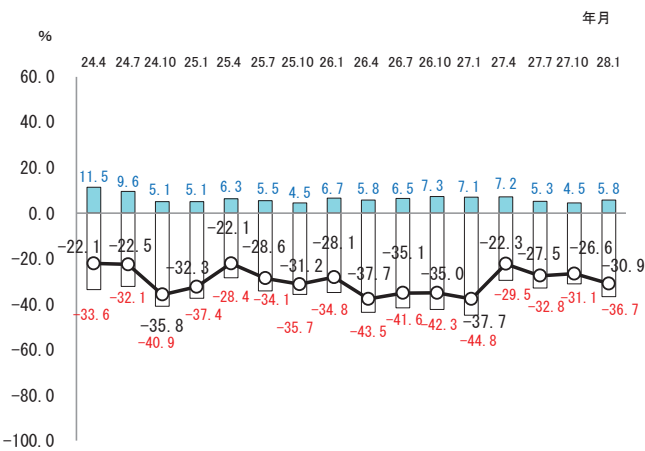
客数 (取引先数)



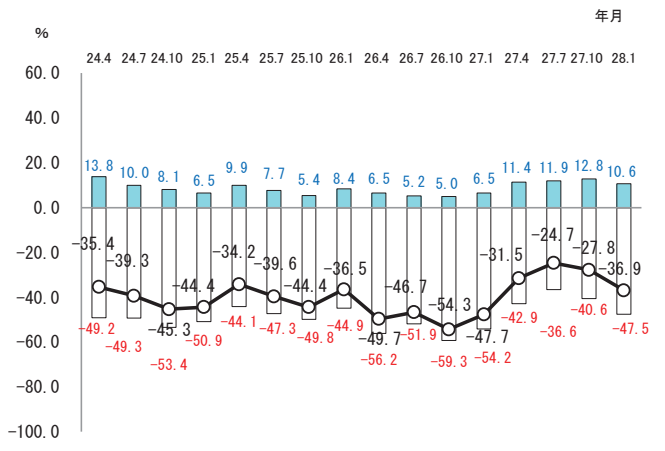
販売価格



資金繰り

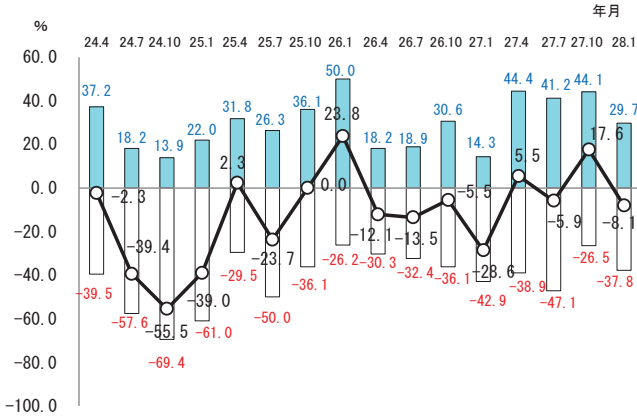


収益率

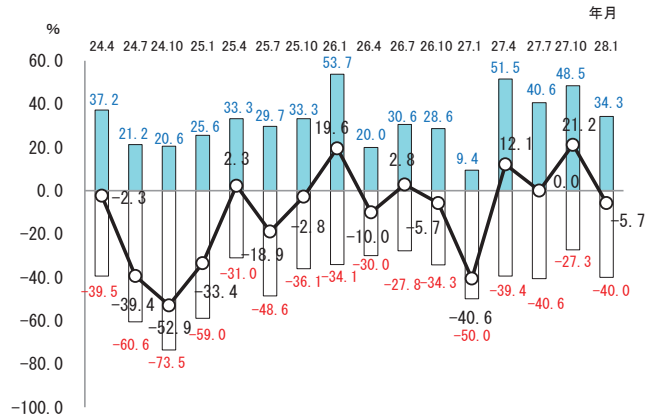


工 飲食業・宿泊業

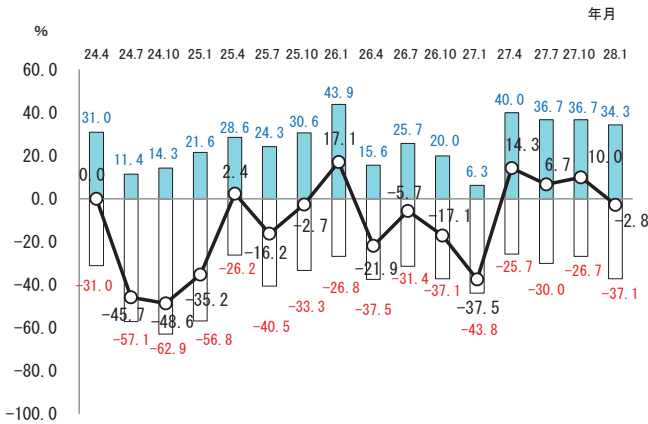
業況



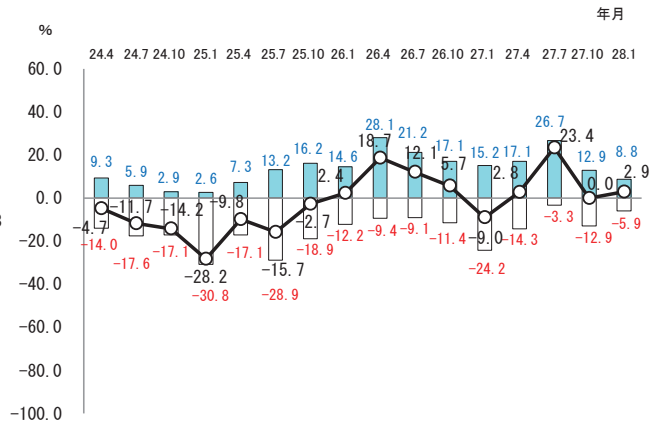
売上高



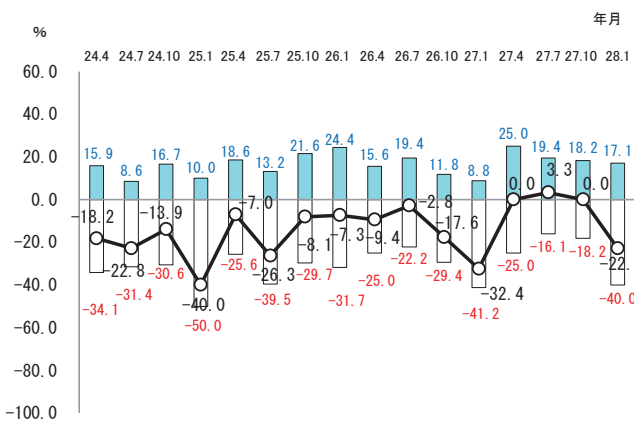
客数



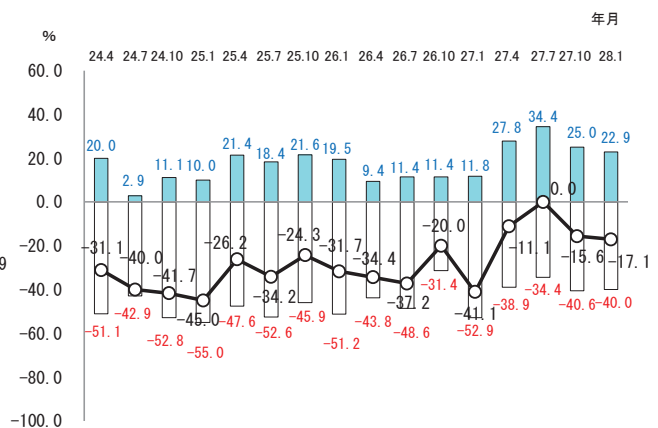
販売価格



資金繰り



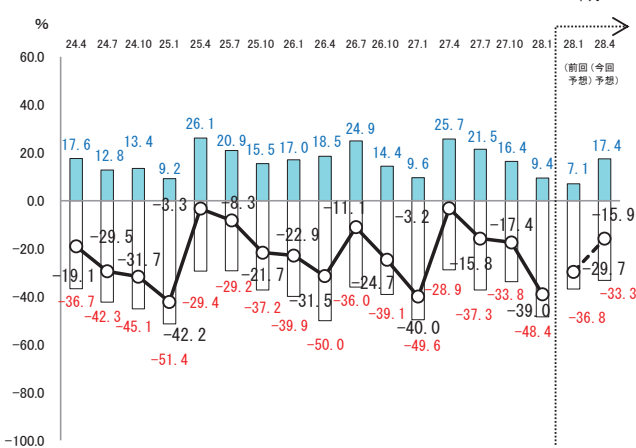
収益率



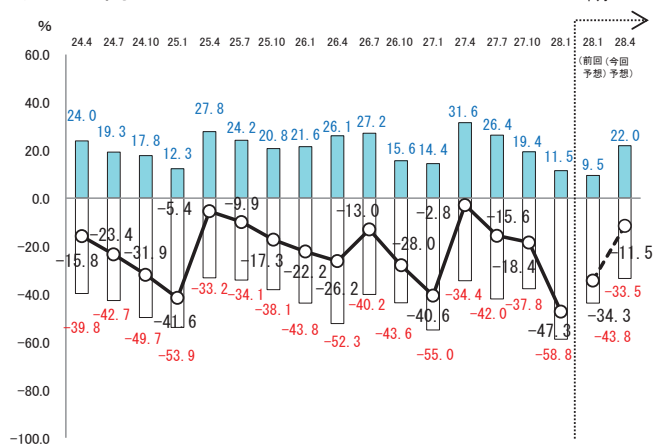
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

非製造業全体

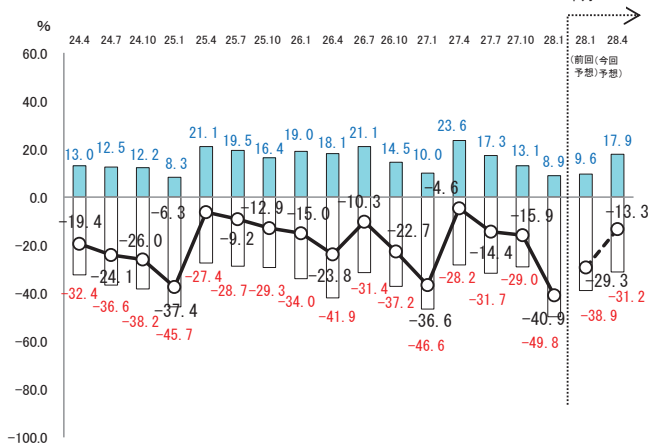
業況



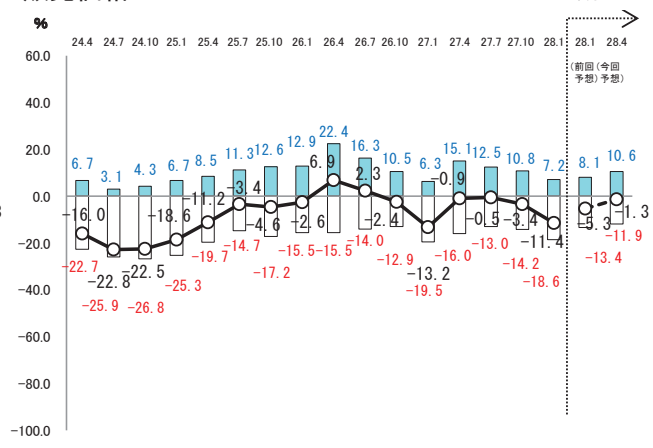
売上高



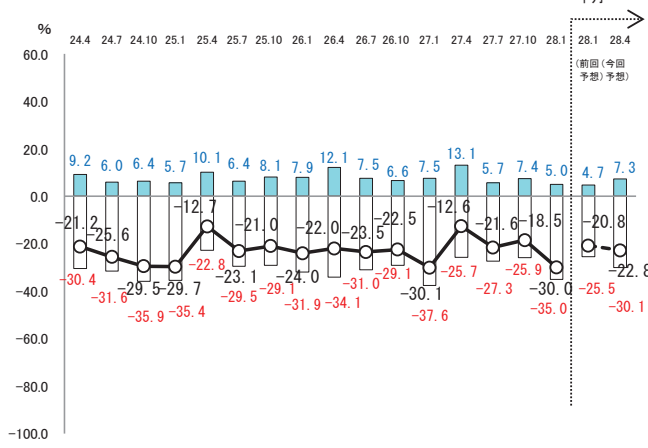
客数 (受件数)



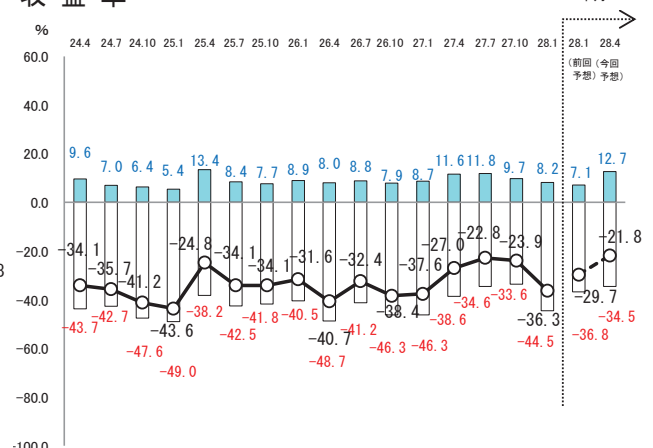
販売価格



資金繰り

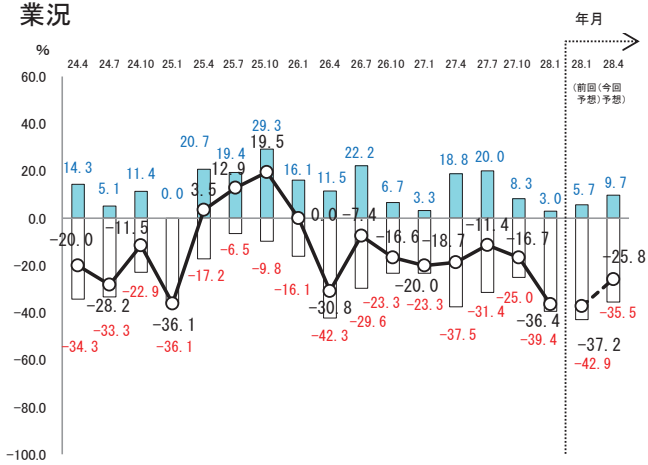


収益率

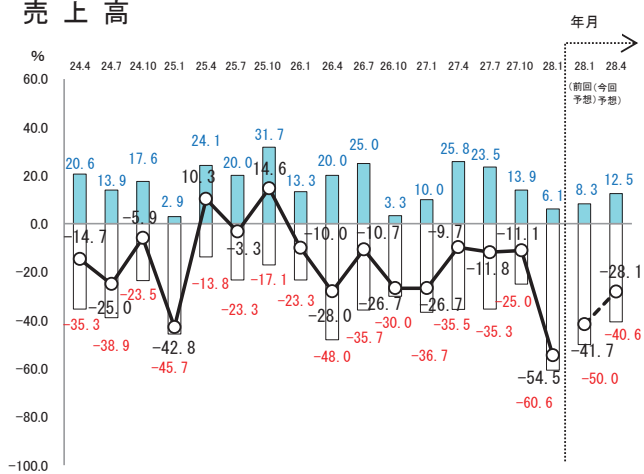


ア 建設業

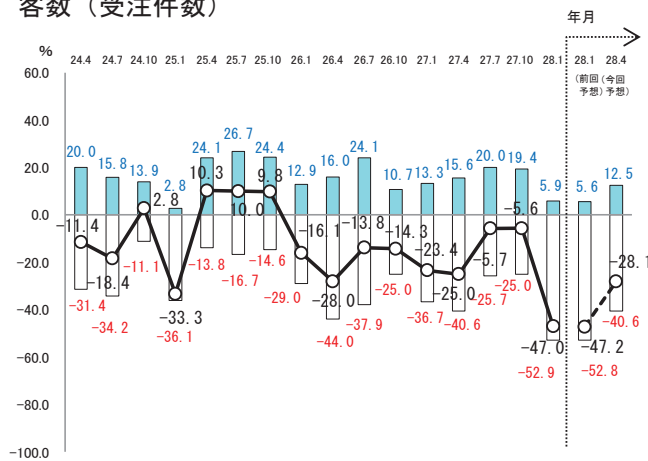
業況



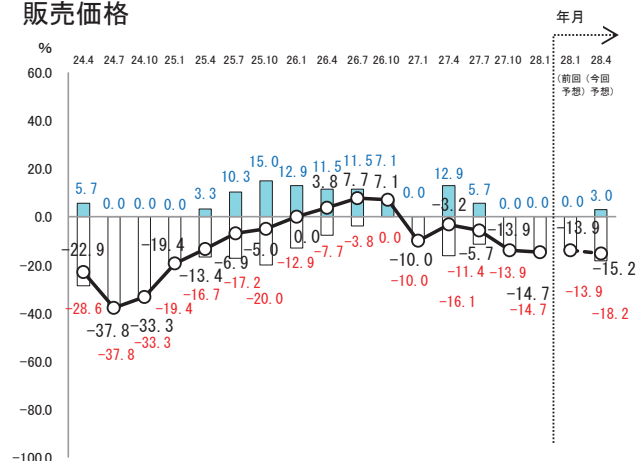
売上高



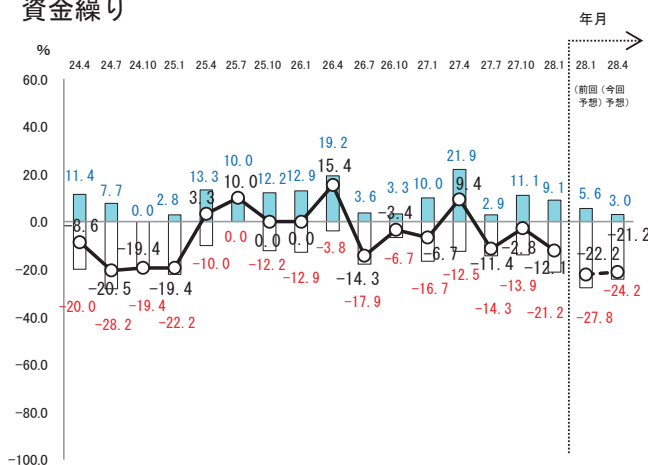
客数 (受件数)



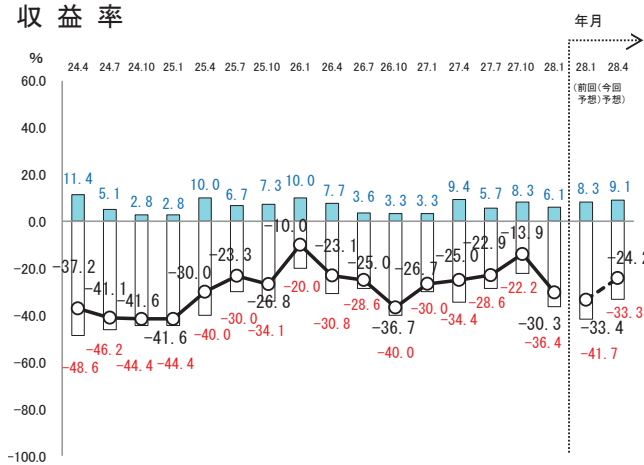
販売価格



資金繰り

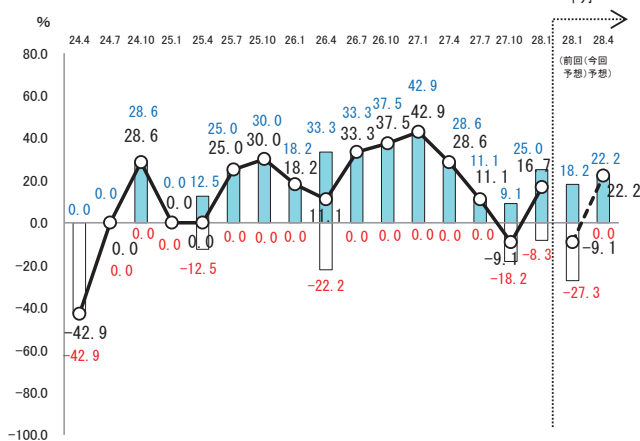


収益率

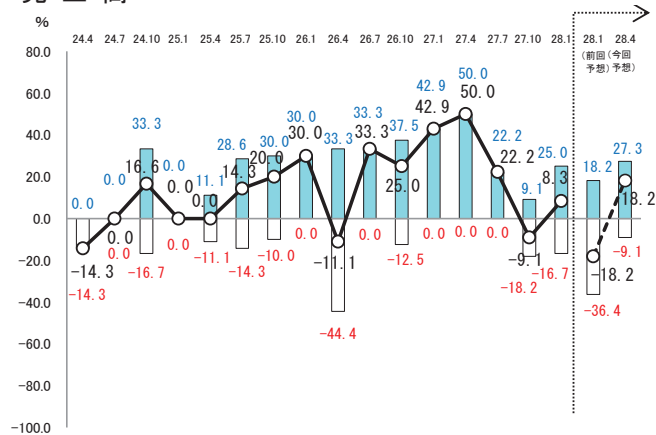


イ 情報サービス業

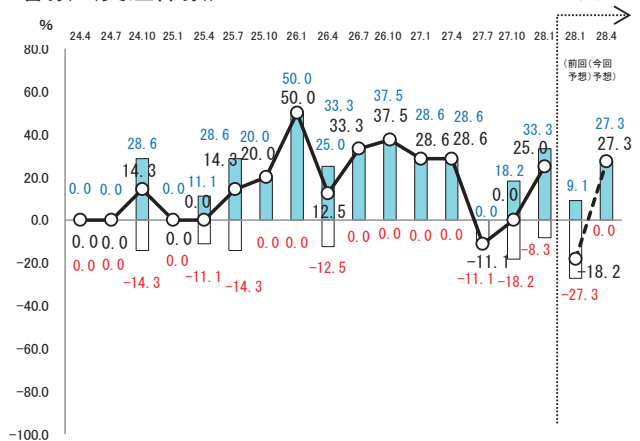
業況



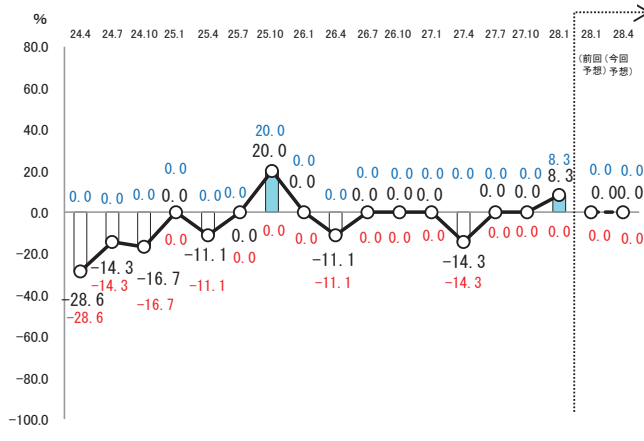
売上高



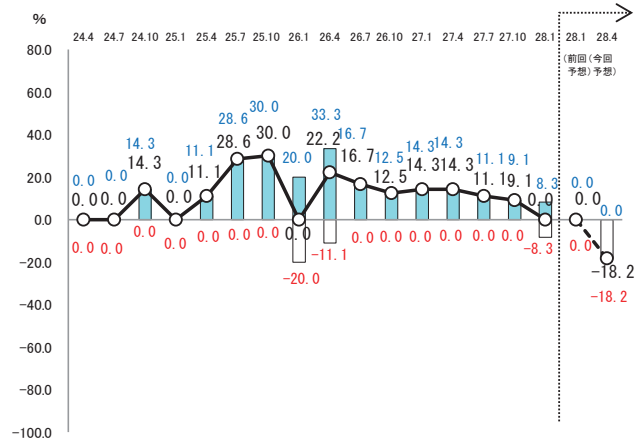
客数 (受案件数)



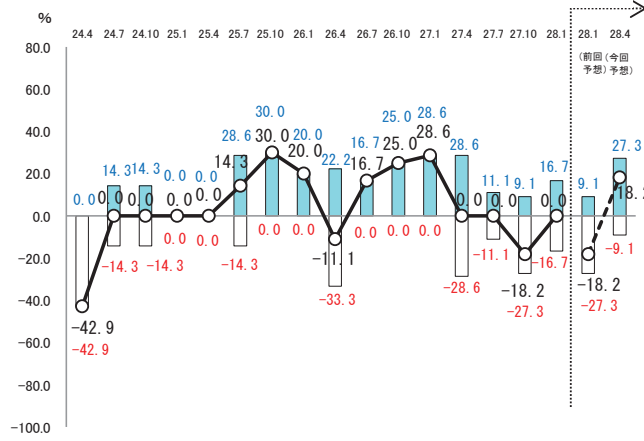
販売価格



資金繰り

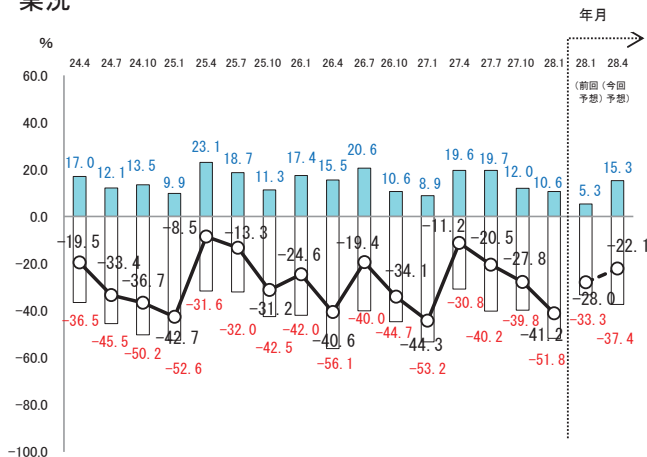


収益率

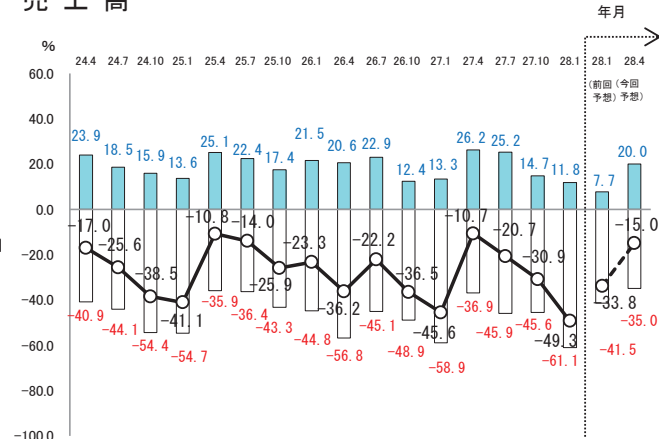


ウ 小売業・卸売業

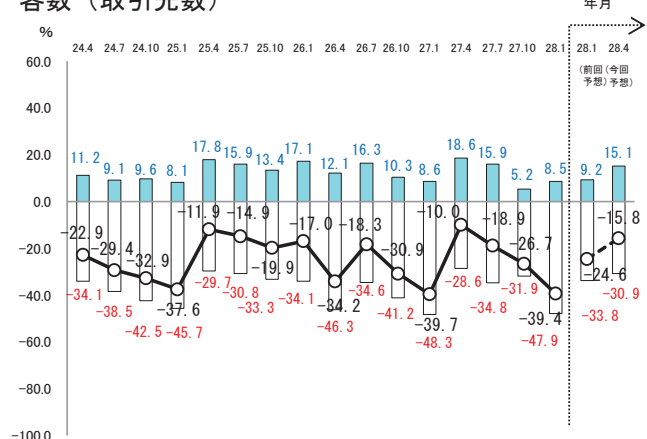
業況



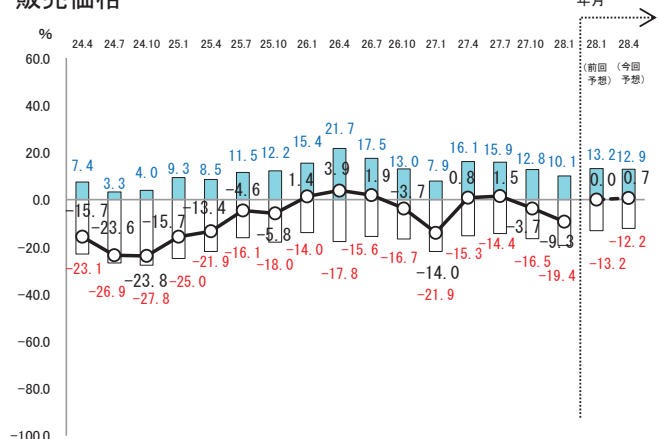
売上高



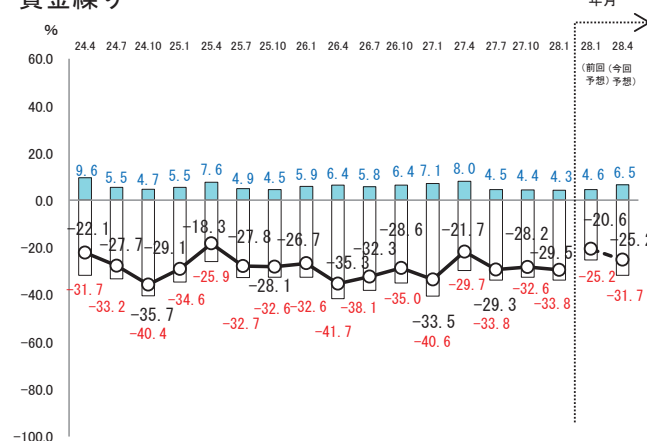
客数 (取引先数)



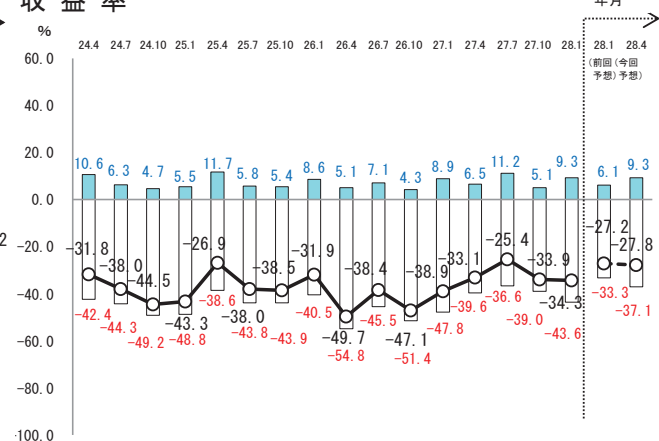
販売価格



資金繰り

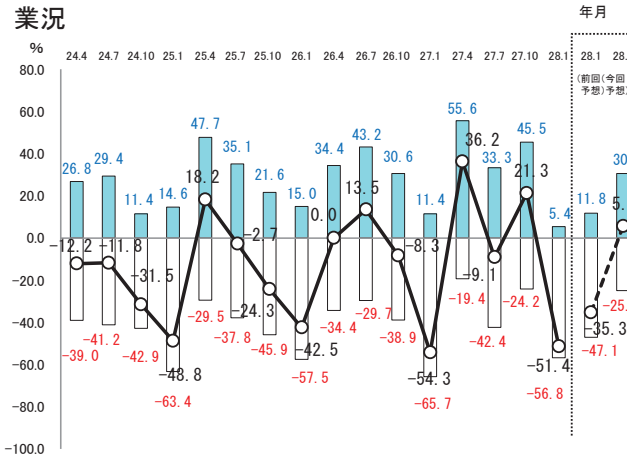


収益率

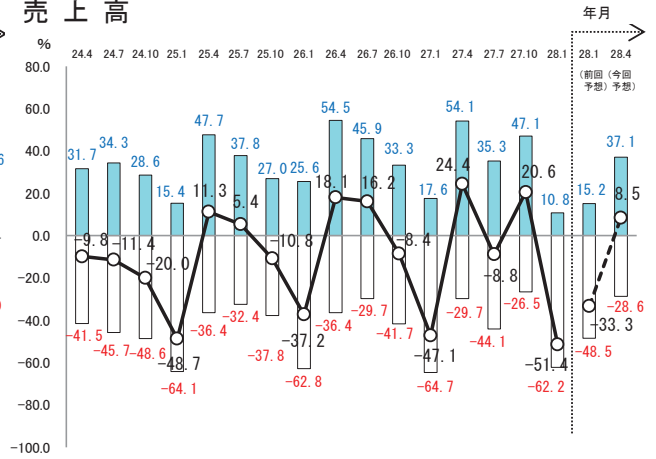


工 飲食業・宿泊業

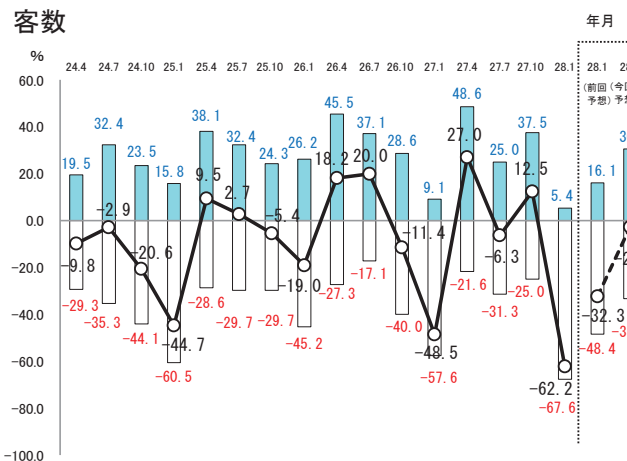
業況



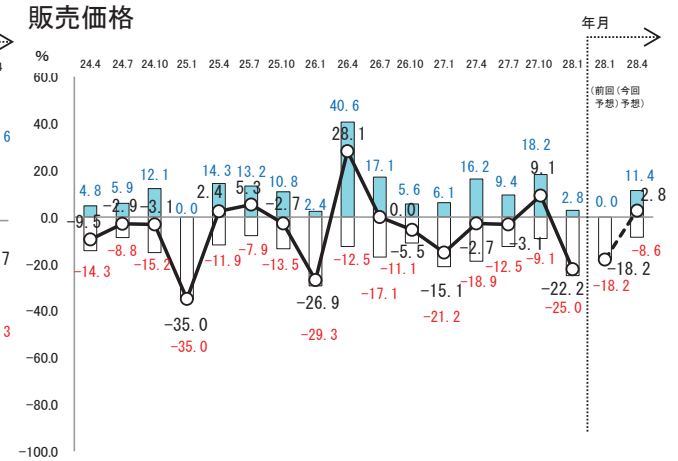
売上高



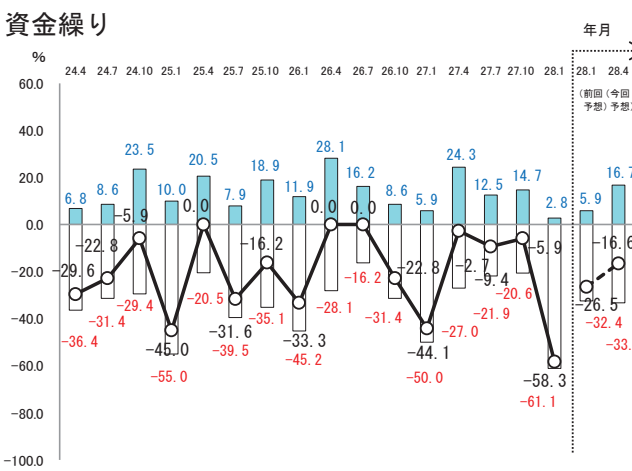
客数



販売価格



資金繰り



収益率

